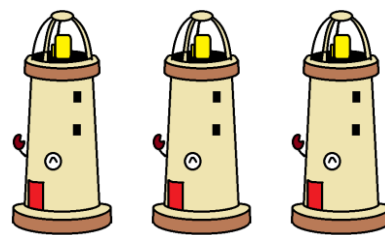


おうちで、レッツトライ！（レベル3）

「三浦をてらす 3つの灯台」



古くから、海の道しるべとしての役割を果たしてきた灯台。そのルーツは、古代エジプトにあるとも言われています。日本独自の灯台が作られるようになったのは、江戸時代と言われています。当時は、「かり屋」「灯明台」と呼ばれていたそうです。

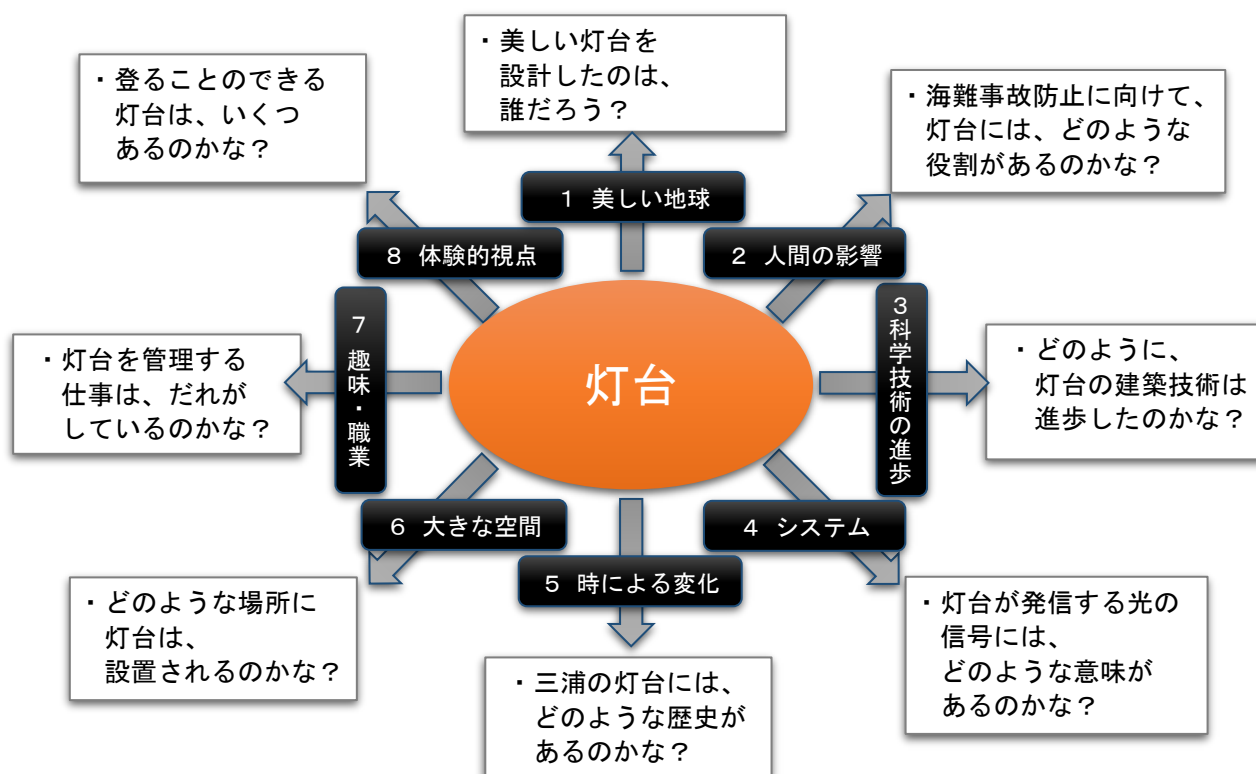
城ヶ島では、江戸時代にのろし台が設置され、灯台としての役目は果たしていました。明治時代に入り、城ヶ島と剱崎に西洋式灯台が設置されます。それぞれ、城ヶ島灯台、剱崎灯台として、今もなお力強く光を放ち、三浦の海を見守っています。

みうら学・海洋教育の一環として、ぜひ、三浦の灯台について調べ学習に取り組んでみてください。

調べ学習では、調べたい問題をはっきりさせることが大切です。

灯台について、どんなことを調べてみたいですか？

例えば、アースシステムの視点から、問題を見つけてみましょう



アースシステムとは、地球をひとつのシステムとして見ることで、それぞれの事象・現象を相互作用的に捉えます。具体的には、学習材を多角的に捉えられるように8つの視点から見つめるとともに、それぞれの視点を通して他の学習材とのつながりを見出し、学びの可能性を広げていきます。

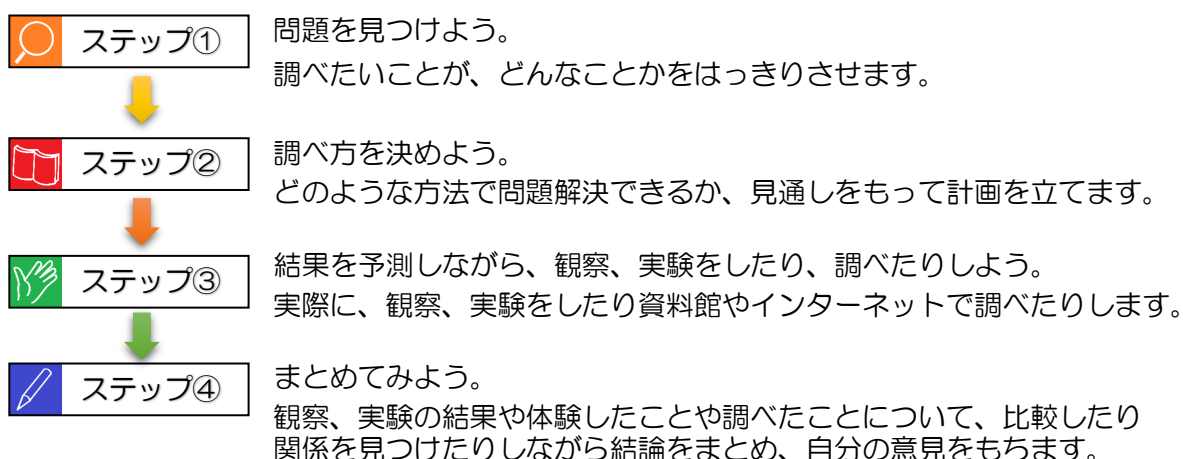
調べ学習では、次のような資質・能力を育ててほしいと願っています。

1. 海に関する問題を明確にして、解決の見通しをもって調べる計画を立てる。そして、結果を予測しながら問題解決に取り組む。また、新たな問題を見つけて学びをつなげていく。
2. 持続可能な社会の実現に向けて、自然や社会のことで調べた事実に対して自分なりに考える。そして、友達と考えを交流して多様な考え方を共有しながら、自分の意見をもつ。

さて、どのような資質・能力を育ててみたいですか？ 気になるところに赤い線をひきましょう。

最後です。調べ学習のすすめ方を確認しましょう。

調べ学習をすすめ方として、次の4つのステップを提案します。



さっそく、調べ学習に取り組んでみましょう。

ステップ		資質・能力
① 問題を見つけよう 	どのようなことを調べてみたいと思いますか？ 問題を明確にしてみましょう。	・ 海に関する問題を明確にする。
② 調べ方を決めよう 	問題を解決するためには、どのような調べ方が必要ですか？見通しをもって計画を立てましょう。	・ 解決の見通しをもって調べる計画を立てる。
③ 観察、実験してみよう 調べてみよう 	観察、実験をしたり、調べたりしてみましょう。	・ 結果を予測しながら問題解決に取り組む。
④ まとめてみよう 	ワークシートや画用紙、模造紙などに、まとめてみましょう。 1. 調べた問題 2. 調べ方 3. 実験、観察の結果や調べた結果 4. 比較したり関係を見つめたりして考えたこと 5. 問題に対する結論や自分の意見	・ 比較したり関係を見つめたりして、結論を出す。自分の意見をもつ。

ワークシート

学校名

なまえ

ステップ①



調べた問題

ステップ②



調べ方

ステップ③



観察、実験の結果、調べたことの結果

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is a solid black vertical line along the left edge, creating a margin. The rest of the page is filled with light gray dashed horizontal lines.

ステップ④

[illegible]